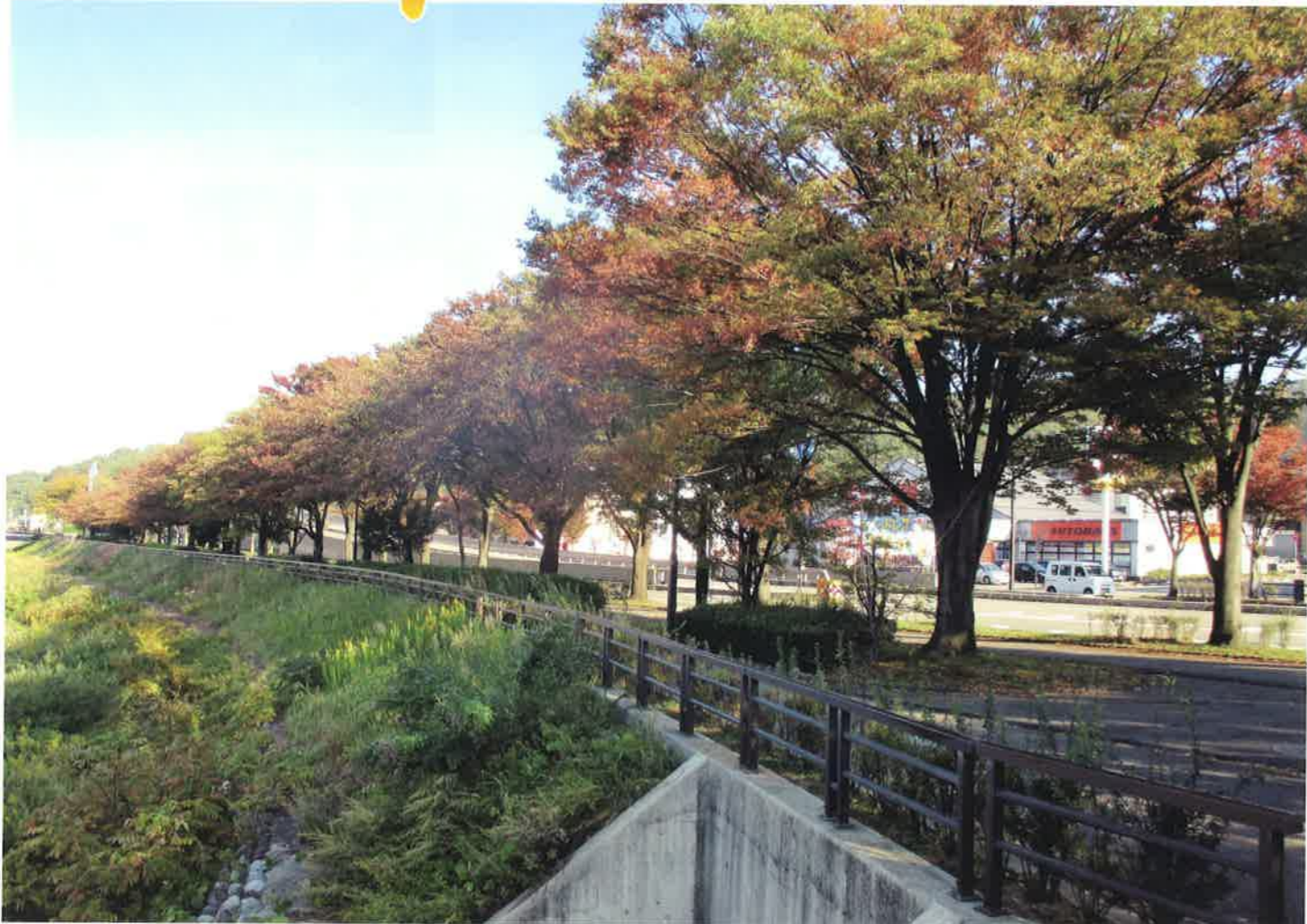


NPO 金沢杜の里 NEWS

2016.11 No.24



秋の山環道路(もりの里3丁目)

この緑豊かな街並みの保全・育成を推進するための「まちづくり花いっぱい運動」は、四季を彩る花々が潤い空間を提供するだけでなく、市民が地域への愛着を深め、次世代へ受け繋がる活動であると考えています。

また、地域の皆様が楽しみにしている各種イベントの支援及び開催は、地域間や学生との交流を促進するだけでなく、コミュニティの礎になるもの大いに期待しております。

むすびに、貴法人の益々のご発展と地域の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



金沢市長 山野之義

NPO金沢杜の里 設立十周年に寄せて

特定非営利活動法人NPO金沢杜の里が、設立十周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

平成十九年四月の設立以来、金沢大学の門前町として整備された杜の里地区をはじめとする本市東部地域において、地域の皆様方と共に活気に溢れた活動を展開されました。関係役員ならびに皆様方に、心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

東部地域のまちづくりは、昭和六十年の若松・鈴見土地区画整理事業に始まり、本市の交通ネットワークの骨格をなす金沢外環状道路山側幹線や田上第五、田上本町の土地区画整理事業の完成により、豊かな自然と調和した街並みが創出されました。

この緑豊かな街並みの保全・育成を推進するための「まちづくり花いっぱい運動」は、四季を彩る花々が潤い空間を提供するだけでなく、市民が地域への愛着を深め、次世代へ受け繋がる活動であると考えています。

また、地域の皆様が楽しみにしている各種イベントの支援及び開催は、地域間や学生との交流を促進するだけでなく、コミュニティの礎になるもの大いに期待しております。

むすびに、貴法人の益々のご発展と地域の皆様方のご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



No.24

平成28年11月1日

発行・編集：NPO金沢杜の里情報公開委員会

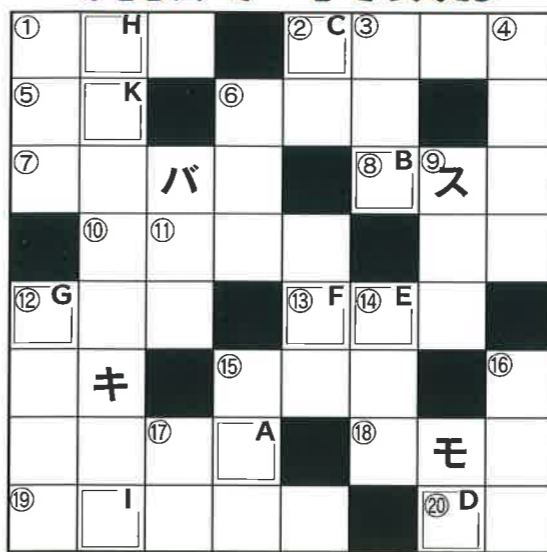
〒920-1165

石川県金沢市若松町3丁目281番地

☎076(222)7730

ホームページ：http://morinosato.or.jp/

クロスワードパズル



答 A B C D E F G H I K

- タテのカギ
- つまむこと
 - 贈り物にそえるもの
 - 茨城県の県庁所在地
 - 物等を取り調べること
 - 文章の中の語句
 - 住むところ
 - 地球の南のはし
 - ならんでいること
 - 太陽系の惑星の1つ
 - 打消しの意志を表す
 - 時間をはかるための機械
 - 心の中にあること
 - ベトナムの首都名
 - うわの〇〇

ヨコのカギ

- 旅の思い出を〇〇〇
- 飲んだ時の舌ざわり
- 遊びに使う丸いたま
- 店で客の相手をしたり物を売ったりする人
- 理科と数字
- 秋の七種の草花
- 珍しい味の食べ物
- 近世以後の消防夫の組の目じるし
- こわがって、びくびくする気持ち
- 金属を溶かし型に流しこんで作った製品
- 首都はキエフ
- 夫のつれあい



応募方法

- ◎郵便はがきに解答と住所、氏名を記入し、11月30日までに、次の所へお送りください。
- NPO金沢杜の里情報公開委員会 係
- 〒920-1165 金沢市若松町3-281
- ◎24号の正解者には12月上旬に発送します。
- ◎24号の解答は29年4月発行の25号に掲載します。
- ◎23号の解答は「スズカケ」と「ユリノキ」坂でした。当選おめでとうございます。
- ◎正解者の中から抽選で15名様に粗品をプレゼントしました。

お知らせコーナー

「地区計画を活用した街づくりルール」更新しました

【地区計画を活用した街づくりルール】を金沢市都市計画課の監修により再調整しました。



金沢市若松・鈴見土地区画整理地内における建築行為について「NPO金沢杜の里」での緑化推進の事前相談が必要ですが、



自然環境と景観を保全した緑と花のある街の実現など、安全に住み続けられるまちづくり活動を推進します。



NPO金沢杜の里は、どなたでも加入できます。新しい発想とアイデアをもった若い力を求めています。

連絡先

特定非営利活動法人 NPO金沢杜の里
金沢市若松町3丁目281番地
電話/222-7730 FAX/262-0026

まちづくり活動



緑地小公園除草(毎月)



杜の里児童館避難訓練(8/8)



花苗植替え(第4回 8/27)



チューリップ球根掘り出し(9/23)



花苗植替え(第5回 9/24)



ベンチ塗替(10/16)



チューリップ球根植付(第6回 10/22)

支援事業



杜の里小夏祭り(8/20)



2016杜の里祭り(10/10)



杜の里りんぴつく(10/16)



ホテルの飼育・観察(9/26~11/下旬)

NPO金沢杜の里10周年記念事業

もりの里の公園(4カ所)の公共トイレに時計を設置しました。



中瀬栃ノ木公園



若松八幡さん公園



鈴見しょうぶ公園



若松せせらぎ公園

街の声

「23号(28・7・1)のご意見・感想から」

☆ もりの里、この辺りはとても坂が多い地区ですね。百合の木坂、なんてきれいな名前の坂なんです。1、157mあるそう。いつも通っているのにクイズのおかげで、坂の名前を知りました。ありがたうございます。(わが町・探訪シリーズ)町地図(どのあたりかわかるような)が入っているのがわかりやすいと思います。自分の住んでいる周辺は分かるのですが、「下中島町」とは、どのあたりか見当が付きません。

☆ 梅雨空が続く、屋内で過ごす時が多くなって、今まで以上に運動不足になります。夏の日指しが戻るとプリンターの水やりが欠かれません。NPO杜の里のスタッフの皆様、暑い中お疲れ様です。

☆ 自宅からもりの里のアルビスへ買い物に出かけますが、お世話されている花壇の花に和みます。ありがたうございます。

☆ 毎回クロスワードのしみに解かせていただいています。今回のズカケの坂道、大好きな坂道です。初夏の青葉、秋の黄紅葉(落葉の始末が大変でしょうけど)、プランターの花と共に季節を楽しんでいる坂です。

☆ 前号の「街の声」に、もりの里の緑化計画について事前相談が必要との記事がありました。まさに、自分の街が都市計画に基づいているといえる緑化や家屋が好みで、なくなったりで街並の景観が失わつていくことに残念に思います。NPO法人さん及び金沢市の担当部署のご努力に感謝します。

☆ 先般、某新聞の記事を見てうれしくなりました。NPO金沢杜の里が設立十周年記念事業で、4カ所の公衆トイレに時計を設置されたことと。早速、見てきました。大きくて見やすい時計でした。ありがとうございます。みんなの時計です。大事にしましょう。

☆ 角間川遺跡や若松マキノ遺跡などがあるとは知りませんでした。縄文晩期の土器片が発見されているなど、とっても興味深かったです。歴史つてすごいですね。

☆ いつも楽しく拝見させていただいております。地域の活性化、よりよい街づくりのために、頑張ってください。応援しています。

☆ 広報誌をつくる大変さを、その立場になつてはじめて気づかれました。今後よりよいNPO金沢杜の里NEWSを作ってください。

暑い季節も無事乗り越えられたことと存じます。当法人も皆様方のご支援協力により、十年目を迎えました。感謝申し上げます。この記念事業として、もりの里の4カ所の公園の公衆トイレに時計を設置しました。

今回も、皆さまからたくさんのお声をいただき感謝しています。皆様の暖かい声を大切に、地域の方々に喜んでいただけるよう、街づくり活動等に努めてまいります。当法人に対するご意見・ご感想などお便りをお待ちしております。(編集後記)

わが町・探訪シリーズ4 下中島町会

下中島町と呼ばれるようになったのは、当時の浅野川が昔から暴れ川として知られていました。浅野川は奥行き短い川で、そのため雨が続き一度に流れ出すため、下流の若松では度々氾濫し大災害が起きていました。昔も今も浅野川の地形はほとんど変わっていませんが、川の幅は田上本町の辺りまでは狭く、今の旭町や若松辺りで広がっていたことから、雨の少ない時には川に中洲ができ、村人はそこを畑などにしておりました。そして、いつの間にか川の若松川に大量の土砂が堆積して大きな中洲(島)が出来たのです。それが角間川によって二つに分断となって、いつしか上中島、下中島と呼ばれるようになり、一部そのまま残ったのが上・下中島と思われま。

このように、水害の後始末が大変なので、浅野川右岸745m、奥地の283mも要らないという話ですが、江戸時代「中島」の奥地の「島の下」まで洪水だったとすれば、左岸の小立野台地の裾まで「中島」の状態であったことが想像されます。この話について、藩政時代の絵図では、現在の「下中島」を「石川郡牛坂村領」と明記してあります。これは、「享和2年(1802)鈴見村内検地分間絵図」(金沢市史)で、かつての浅野川沿いの道も描かれていることから、川底をさらえて堤防を築く「川添・かわよけ」が行われていたと推定できます。「鈴見地区小



字名地図)によると、中島の北側は「河原・島田・中洲」であることから、「中島」と同時期に生まれた地名・小字といえます。中島の位置について、明治初期の「皇国地誌・崎浦村」に記されている「ナカジマ・中島、村地ノ東北浅野川北涯、東西二町三十間(273m)、南北六町五十間(745m)」とあり、また、現在の上中島を「玄黄」(ぎんこう=銀鈎・龍の腰)とし、「村地ノ南西浅野川ノ東北涯、東西一町三十間(164m)、南北三町三十間(382m)」と記しています。

藩政時代の「中島」は中の島でなく、田圃であったとする証拠として、加賀藩の鈴見村と若松村の石高の合計があげられます。生保年(1646)の合計が「861・9石」で、188年後の天保年(1834)の石高も、同じ「891・9石」になっています。(日本歴史地名大系 平凡社)、先の享和2年(1802)の絵図は、天保年の32年前であり、鈴見の河原・島田・中洲を含む検地図であることから、生保年(1646)には、ワダ用水は通水されており、当然、中島の田圃も潤っていたことになります。

昭和55年(1980年)11月、金沢大学の総合移転地が若松鈴見地区に隣接する角間地区に決定され、若松・鈴見地区土地区画整理事業が進み、昭和63年(1988年)3月、若松・鈴見地区大学前町街づくりマスタープラン「金沢杜の里街づくりの道標」により、もりの里1丁目(若松町太刀、若松町長田、若松町若、若松町)、若松町上、旭町日、旭町、旭町上中島、等)・2丁目(旭町下中島、旭町口、等)の新しい町名になり、現在、もりの里2丁目の一部34所帯、アパート、マンション23棟が「結」を支えに、町会名を「下中島町会」として活動しています。

下中島町 町会長 南 謙次

☆次回は「上若松町」の掲載を予定しています。